





1

2

3

- 1: 施工前の様子。昨年度組み上げた丸太土留めは右下。
- 2: 丸太土留めを組み上げている様子。雨天の中、ブルーシートで屋根をつくり、安全に留意しながら作業を行いました。
- 3: 施工後の様子。23 段まで丸太を組み上げることができました。残すは仕上げ作業！

歩く県道事業がはじまって約10年。今年度は整備の技術や利活用について交流していただくことを目的に、会津坂下町より、束松峠を護る会の皆さんを銀山峠にお招きしました。会長の長谷川一男さんは「銀山峠の皆さんは手際がよい」と語り、銀山街道を活用して地域を元気にする会の皆さん、銀山峠を復活させる会の皆さんと意見交換をされました。今後もこのような、刺激しあえる場を提供していきたいと考えています。

令和3年10月11日、12日に24名の参加をいただき、丸太土留めを組み上げる作業と山側を削って道幅を拡げる作業を行いました。次年度以降、仕上げ作業を行って完成させたいと考えています。

銀山峠の旧道が崩落してしまい、道幅が狭く危険な状態でした。昨年度、半分の高さまで丸太土留めを施工しており、今年度も継続して作業を行いました。

## 銀山峠、崩落箇所を丸太でなおす



1

2

3

- 1: 施工前の様子。沢を渡れるように丸太橋が設置してありましたが、沢の水で押されてしまい通行できなくなっていました。
- 2: 昭和村中向の中丸政則さんがシュロ縄の扱い方を参加者に教えている様子。
- 3: 施工後の様子。長い木道が完成しました。沢沿いに木道を渡すために枝を敷き詰めて土台に。水の流れに柔軟に対応し、イワナなどの川魚の滞留など、生態系にも配慮しました。

吉尾峠には、小さな沢がいくつもあり、地元からぬかるみの改善や道を横断する沢に階段をつくって歩きやすくしたいと要望をいただけていました。今年度は、一昨年度から川側に大きく押され、利用できなくなっていた丸太橋の補修を令和3年11月17日、18日に行い、24名の参加をいただきました。作業は資材の運搬からはじまり、既存の橋の補修と木道づくりを行いました。参加者に番線の巻き方を熱心に教えてくださったのは、昭和村中向の中丸政則さん。よく切れるナタや多用途に使える十字クワを使って軽快な身のこなしでした。



長い木道が出来上がると「昭和村の尾瀬みたい！」と参加者と喜び合いました。

## 吉尾峠、沢沿いに木道をつくる

## 会津銀山街道の魅力 「美女峠 スノーハイク」

美女峠の冬は、かんじきを履いてのスノーハイクがおすすめ。冬芽を観察したり、陽光を浴びたりと冬ならではの魅力があります。山好きにとっては、峠道から外れてどンドン近道を見つけていくのが醍醐味です。下りはソリでいっきに滑ります！お昼にシュウマイやスープなど、あたたかいご飯を準備してぜひ楽しんでみてください！



ご意見・お問い合わせ

福島県会津若松建設事務所企画調査課

MAIL : wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp  
TEL : 0242-29-5455 / FAX : 0242-29-5459

福島県南会津建設事務所企画調査課

MAIL : minamiaizu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp  
TEL : 0241-62-5322 / FAX : 0241-62-5274



会津銀山街道